

- 問1 急速な西洋化の中で伝統美術の価値を再発見し、日本美術の復興に尽力した人物は誰？
- 問2 義務教育の普及により日本国民の間で高まった、文字の読み書きができる能力の割合を何という？
- 問3 日露戦争の講和条約であり、賠償金が得られなかったことに国民が不満を抱いた条約を何という？
- 問4 1889年に公布され、天皇を国家の主権者と定めた日本の近代的な憲法を何という？
- 問5 第一次世界大戦において、軍事だけでなく国民のあらゆる物資や労働力を動員して行われた戦争の形態を何という？
- 問6 1877年、西郷隆盛を中心とした鹿児島県の士族らが、明治政府に対して起こした日本最大規模の反乱を何という？
- 問7 1905年、日露戦争後の韓国を保護国化するために日本が結んだ条約を何という？
- 問8 立憲改進黨が理想とした、国会が予算や法律の議決権を持ち、内閣が議会に対して責任を負う制度を何という？
- 問9 不平等条約の改正を有利に進めるため、政府が欧米風の文化を取り入れる欧化政策の一環として建設した施設を何という？
- 問10 1910年に日本が韓国併合を行う直接的なきっかけとなり、朝鮮半島への影響力を強めることとなった1904年から始まった戦争を何という？
- 問11 1872年に制定された学制において、身分や性別を問わずすべての国民が教育を受ける権利を認めた理念を何という？
- 問12 大日本帝国憲法に基づき開設された、日本の立法機関を何という？
- 問13 小村寿太郎が外務大臣として、関税自主権の完全回復を実現した年はいつですか？
- 問14 明治時代の江華島事件や日朝修好条規の締結により、日本が外交的な影響力を強めた対象の国をどこという？
- 問15 フランスで印象派の画風を学び、帰国後に日本画壇で「湖畔」などを発表して近代洋画の先駆者となった画家は誰？
- 問16 西南戦争の戦費調達のために政府が大量発行し、激しいインフレーションを引き起こす原因となったものは何か？
- 問17 足尾銅山鉱毒事件で、鉱毒により汚染された栃木県や群馬県を流れる川を何という？
- 問18 岩倉使節団の副使として欧米を視察し、後に初代内閣総理大臣となった人物は誰？
- 問19 1871年に明治政府が欧米へ派遣した、岩倉具視らが特命全権大使を務めた使節団を何という？
- 問20 下関条約後の遼東半島返還を強く求めた国々の組み合わせを何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 岡倉天心	岡倉天心は日本美術の優れた価値を見抜き、フェノロサと共に伝統を守る活動を行いました。東京美術学校の設立に尽力しただけでなく、英文で『茶の本』などを書き、日本文化の美しさを世界へ発信しました。
問2	答え 識字率	学制の発布やその後の義務教育制度の普及により、日本全国で小学校教育が展開されました。その結果、全国民が読み書きの能力を身につけるようになり、識字率が劇的に向上しました。高い識字率は、近代技術の習得や新しい思想・文化の吸収を容易にし、日本の急速な近代化を可能にする大きな要因となりました。
問3	答え ポーツマス条約	アメリカのセオドア・ルーズベルト大統領の仲介により、ポーツマスで調印されました。これにより日本は韓国での指導権や、遼東半島の租借権、樺太の南半分などを獲得しましたが、国民が強く期待していた戦争賠償金の獲得はなりませんした。
問4	答え 大日本帝国憲法	1889年に公布された大日本帝国憲法は、天皇を主権者としつつ、議会や内閣のあり方を規定しました。臣民の権利を認めつつも、法律の範囲内という制限がつくものでした。
問5	答え 総力戦	総力戦とは、兵士だけでなく工場労働者や女性なども含め、国家のすべての資源・物資・国民を戦争遂行のために動員する戦い方です。これにより、軍事のみならず国民生活全体が戦争の影響を直接受けるようになりました。
問6	答え 西南戦争	1877年、政府の政策に反発した鹿児島県（旧薩摩藩）の士族たちが、西郷隆盛をリーダーとして担ぎ上げ、西南戦争を起こしました。最新の兵器を備えた政府軍（徴兵令による国民軍）に対し、旧式の装備が中心の士族軍は苦戦し、最終的に鎮圧されました。
問7	答え 第二次日韓協約	1905年に結ばれたこの協約により、日本は韓国の外交権を奪いました。また、韓国を管理するためにソウルに「統監府」が置かれ、伊藤博文が初代統監に就任しました。これにより、韓国は実質的に日本の保護国となりました。
問8	答え 議院内閣制	立憲改進黨は、イギリス流の議院内閣制を理想として掲げました。これは、議会が内閣を監視・統制し、内閣がその議会に対して政治的な責任を負うという仕組みです。立憲改進黨はこの制度の導入を通じて、政府の専制を抑えようとした。
問9	答え 鹿鳴館	1883年、外務卿である井上馨の主導により、東京の日比谷に「鹿鳴館」が建設されました。ここでは連日のように華やかな舞踏会や宴会が開かれ、欧米の外交官らをもてなしました。しかし、多額の費用をかけたことや、極端な西洋化が国民の反感を招き、皮肉を込めて「鹿鳴館時代」と呼ばれました。
問10	答え 日露戦争	1904年に勃発したこの戦争は、陸上での激戦に加え、日本海海戦での勝利により日本の優位が確定しました。アメリカの仲介によりポーツマス条約が結ばれ、日本はロシアから韓国での指導権を認められました。
問11	答え 国民皆学	明治政府は1872年に学制を制定し、学校教育の普及を目指しました。その根本理念が「国民皆学」です。身分や性別にかかわらず、すべての子どもが小学校で学ぶことを目標としました。
問12	答え 帝国議会	貴族院と衆議院の二院制で構成されました。衆議院議員は一定額以上の直接国税を納める満25歳以上の男子による選挙で選ばれました。予算の審議や法律の制定を行う権限を持っていましたが、政府の権限が強く、しばしば対立が見られました。
問13	答え 1911年	外務大臣であった小村寿太郎は、諸外国との粘り強い交渉を行い、1911年によりやく関税自主権の完全回復を成し遂げました。これにより、日本は外国の商品に対して自国の判断で関税をかける権利を取り戻しました。
問14	答え 朝鮮	1875年の江華島事件の後、1876年に日本は朝鮮と日朝修好条規を結びました。これにより朝鮮は開国し、日本は朝鮮国内での権益を確保しました。これは日本にとって、アジアで他国に影響力を行使する最初の経験となりました。
問15	答え 黒田清輝	黒田清輝はフランスへ留学し、戸外制作や明るい色彩を特徴とする「印象派」の技法を学びました。帰国後、彼は「湖畔」などの作品を発表し、それまでの日本の油絵とは異なる、光の輝きを表現する新しい画風を日本に定着させました。また、美術団体である「白馬会」を結成するなど、後進の育成や展示会の開催を通じて日本の洋画界を牽引しました。
問16	答え 紙幣	政府は戦費を調達するため、担保のない紙幣を大量に発行しました。市場に流通する貨幣が急激に増えた結果、貨幣の価値が下がり、物価が異常に高騰する猛烈なインフレーションが発生しました。この経済的混乱は国民の生活を苦しめました。
問17	答え 渡良瀬川	銅山から流出した鉱毒は、渡良瀬川の水を汚染し、その川から水を引き込んでいた広大な農地や水田に深刻な被害を与えました。作物は枯れ、川の魚も死滅するなど、生態系全体が破壊される事態となりました。
問18	答え 伊藤博文	伊藤博文は若くして岩倉使節団に副使として参加し、欧米の国情を深く視察しました。帰国後は、日本初の憲法である大日本帝国憲法の制定に中心的な役割を果たし、議院内閣制の基礎を築きました。1885年には内閣制度が整い、初代内閣総理大臣に就任しました。
問19	答え 岩倉使節団	岩倉具視を特命全権大使とし、大久保利通や伊藤博文ら主要な政治家が参加しました。アメリカやヨーロッパ各国を訪問し、現地での行政、教育、産業を学びましたが、不平等条約の改正交渉は失敗に終わりました。
問20	答え ロシア・ドイツ・フランス	特にロシアは南下政策を進めており、日本がこの地を支配することを最も恐れていました。フランスはロシアとの同盟関係から、ドイツは東アジアへの権益拡大の機会を狙って、ロシアと協力して日本に圧力をかけました。